

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

「喘息とCOPDの増悪をめぐる」が今月の特集テーマであるが、喘息もCOPDも増悪の季節である。以前は多くの患者がこの季節増悪のため入院していた。特に、1995年はインフルエンザが大流行した年でもあったが、ベッドを確保するのが困難な程であった。その当時に比べると、喘息もCOPDもコントロールがよくなり、増悪自体も少なくなり、増悪を起こしても外来通院で管理可能な人が多くなった。

喘息について言えば、吸入ステロイドの普及のおかげであることは論を待たない。COPDについても、それぞれの薬物療法の効果、非薬物療法による管理の向上によるものであろう。特に、近年行われたMISTRAL, TORCH, BRONCUS, PEACE, UPLIFTなどの大規模臨床研究では薬物療法により有意に増悪を減少させることが報告されている。さらに、最近ではCOPDの自然歴を変え予後を改善することも報告されてきた。これらの成績を詳細に検討すると、高血圧や高脂血症に対するカルシウム拮抗薬、アンジオテンシン阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、スタチンなどの臨床研究の数値と遜色ないものである。私たちはもっと「COPDは治療によって症状はよくなり、長生きできる病気です。COPDは治療しなければならない病気です。」ということを呼吸器専門医以外の医師や一般市民にも訴えていかなければならないと思う。

先日アレルギー学会で天満敦子氏のCDを頂いたが、しばらくそのまま放っておいた。ある時ふと手に取ると最初にパブロ・カザルスの「鳥の歌」とあるので、興味を持ち聴いてみた。1992年のバルセロナオリンピックの開会式で演奏された曲でご存知の方も多いと思う。1936年、ナチスドイツの「民族の祭典」であるベルリンオリンピックに抗議し、バルセロナでは「人民のためのオリンピック」が計画されていた。その開会式前日、ファシスト・フランコの反乱によるスペイン内戦が勃発しオリンピックは中止、リハーサル中の指揮者カザルスは皆に別れとともに内戦の勝利と再会を誓って、第9交響曲第4楽章を演奏したという。彼らが二度と会うことがなかったのは歴史の悲しさである。そのカザルスの言葉であるが、「天賦の才能というのは個人の責任ではなく如何ともしがたいが、それぞれの才能を活かすか殺すかはその人の責任である」というのがある。良い言葉ですね。私もたいした取り柄もない凡人ですが、出来るだけ多くのCOPD患者さんが治療されることと、タバコの大幅な値上げを目指して、今年も頑張ろうと思っています。(相澤久道)

呼吸と循環 (第57巻 第2号)

2009年2月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

2009年、年ぎめ予約購読料 31,800 円
(MedicalFinder パーソナルオプション付 41,400 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・菊池・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

IGLS (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。